

リモート通報サービス LANケーブル接続方法のご案内

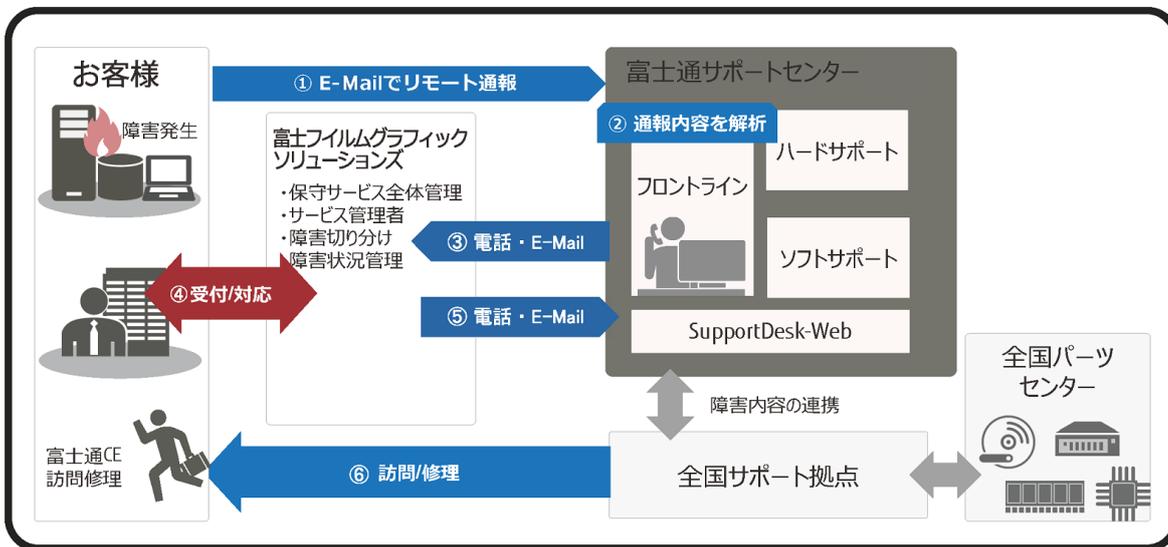
リモート通報サービス導入時のLANケーブル接続方法を構成別にご案内します。

リモート通報サービスとは

ハードウェアを常時監視し、障害予兆や異常が発生すると、富士通サポートセンターへ自動的にメール通報を行い、システムダウンを未然に防ぎます。

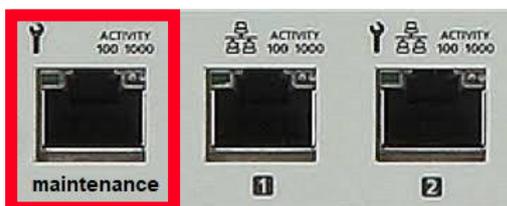
詳細については、「リモート通報サービスのご案内」を参照ください。

障害発生時の通報の流れ



LANリモート通報サービスに必要なもの

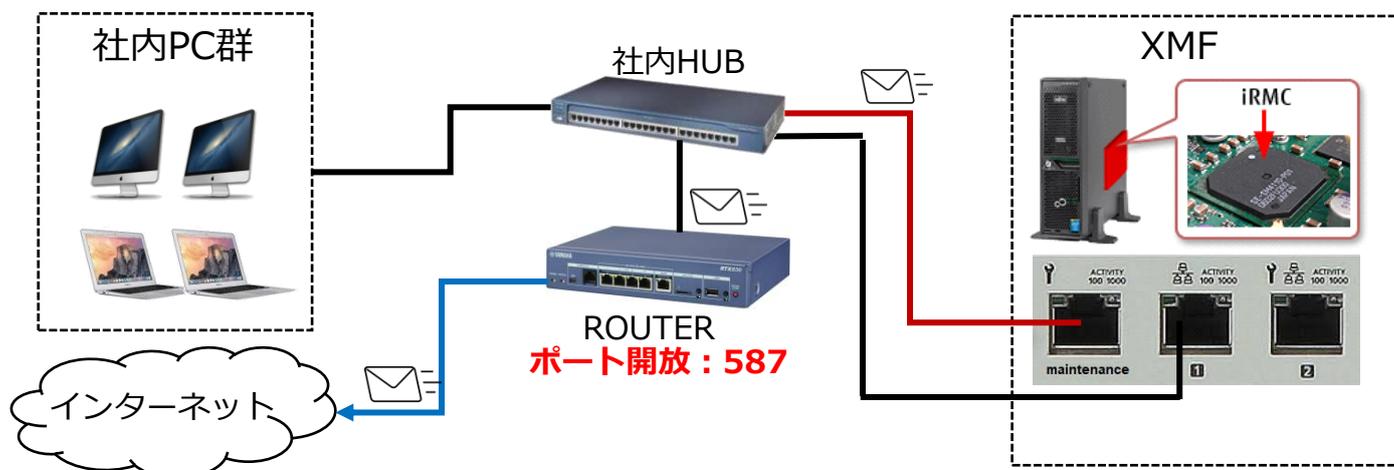
- 1) LANケーブル
リモート通報サービスは専用NICからメールを送信します
そのため、社内LANに接続するLANケーブルをご用意ください。



- 2) ローカルIPアドレス
インターネットに接続できる、「IPアドレス(V4)」「デフォルトゲートウェイ」「DNS」をご用意ください。
- 3) ポート587の開放
外部接続ルータのポート「587」を開放してください。

接続方法について

1) XMF(※1) の場合

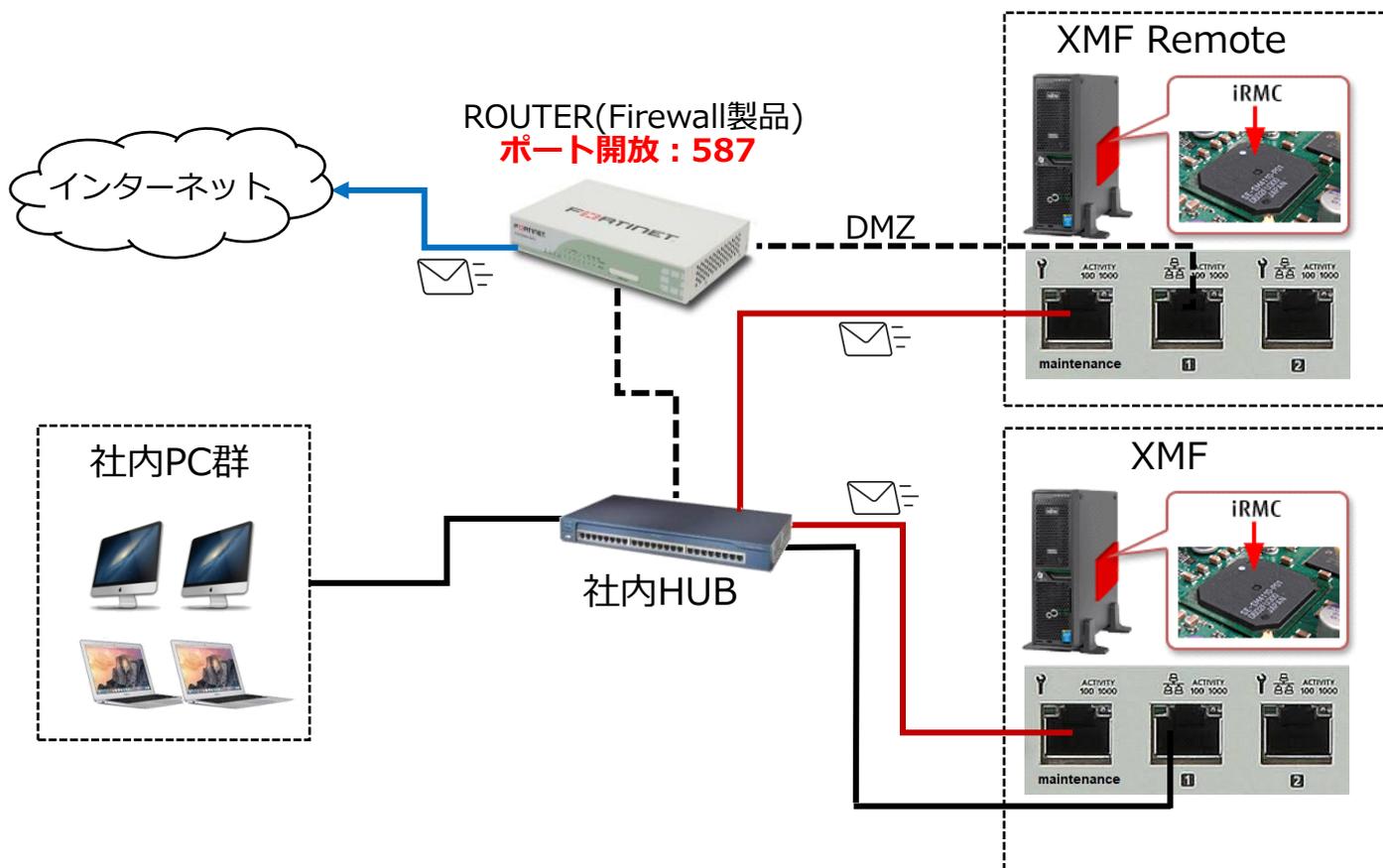


※1.XMF Complete、XMF Smart、XMF Processor、XMF GateWay

2) XMF Remoteの場合

LANケーブルはDMZを経由せずに、直接社内HUBに接続します。(※2)

(※2)リモート通報サービス専用のNICはiRMCチップからのメール送信のみのため、HDDへのアクセスはありません。



www.fujifilm.com/ffgs/ja

FUJIFILM

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社 サービス統括部
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-4-11 STビル辰巳別館 Tel 03-3522-7074